



吉い東氏の海濱もくもくと
 びらしてふく小館とくうこくめ
 今つ定下く一房中くとあつめ
 とまると所辨くくは福と進みか
 五月にみんと清くうくと万里の
 ころとかこま

武三芳野

おるや雪れ麓波とまると小籠毫

あゆまや麓波の雪れまると今

毎朝聞鳥

あや聞ゆくと之旅の宿今

毎朝見花

朝戸もやあまはと掃衣今

あましくまはると平の気とあま 整牛

弓馬の意よまはるとい
 焼

あつめるとは紫や腰のうと 変鶴

酉のうと

